

■学校教育目標■

- は っきり話し、しっかり学ぶ速見っ子 (学びに向かう心)
  - やさしさあふれる速見っ子 (あたたかい心)
  - みんな元気な速見っ子 (ねばり強い心)
- 児童数 381名



# 速見小通信

門真市立速見小学校 発行者 吉岡 記博  
令和8年2月27日 第12号

## はやみ×三中×ダンス×給食×誕生日

2月12日、古川橋駅前において、児童会の人たちが第三中学校生徒会の皆さんと一緒に募金活動を行いました。駅周辺をご通行



されている方々に届くよう声を出して募金を呼びかけました。多くの方が足を止めて関心を示し、ご協力をくださいました。地域の皆様からの温かいご支援に感謝いたします。



ミラノ・コルティナ2026オリンピックではスノーボード選手が活躍しました。スノーボードはレゲエやヒップホップが似合います。そんな冬季オリンピックで世界が盛り上がる中、速見小でも視聴覚室という名の“ダンススタジオ”でダンスクラブチームのライブが始動。盛り上がるオーディエンス。“Drop the beat!” (踊り出せ!)



### 給食選手権最優秀賞「シャキッとスタミナ丼」

1月30日の給食です。小食器に入れてあるおかずのレシピは、速見小6年生の児童が考案しました。れんこんの食感が、シャキッ!



### 祝55周年 速見小学校「創立記念日」

2月25日で速見小は55歳です。誕生日のお祝いにチューリップの花をいただきました。2年生の皆さん、どうもありがとう。



### ◆◆◆◆3月の主な行事予定◆◆◆◆

- 3月 6日(金) 親子行事(6年5・6h)
- 11日(水) 地区児童会
- 12日(木) 6年生を送る会 PTA 決算総会(16:30)
- 13日(金) 児童集会  
第三中学校卒業式
- 17日(火) 卒業式前日準備  
【下校】1~4・6年13:20, 5年15:30
- 18日(水) 卒業式
- 19日(木) 4時間授業【下校】13:15
- 23日(月) 給食最終日  
4時間授業【下校】13:15
- 24日(火) 修了式【下校】11:15~11:30

3月の  
校庭開放  
3月7日(土)全日  
3月21日(土)全日



## 速見小は「コミュニティ・スクール」です

2月16日、第4回学校運営協議会を開催いたしました。学校教育診断の結果をもとに、今年度の取組や次年度の学校運営方針について、委員の皆様より貴重なご意見を頂戴しながら協議を進め、すべての議案に対し、ご承認をいただきました。

### 1. 主体性を育む授業づくり(学校より)

- 子どもたちが自ら考え、進んで学ぶ力を伸ばしていくためには、私たち教師自身も学び続ける姿勢を大切にすることが必要だと考えています。本校では、先生たちが前向きに学び合う雰囲気が少しずつ根付いてきています。
- 本校独自の自主研修「はぴカフェ」では、先生同士が安心して意見を出し合い、日頃の実践を振り返っています。普段は気づきにくい視点に出会うことにより新しい学びが生まれ、同じ目標に向かう仲間の言葉だからこそ、素直に受け止められます。こうした積み重ねが、子どもたちの主体的な学びにつながっていると感じています。
- 地域のお店と連携し、子どもたちの手で商品づくりや販売に挑戦する学習を行いました。チラシを配ったり、宣伝動画を作ったりしました。

### 2. コミュニティ・スクールを活用した取組より(ご意見)

- イベントに参加しました。子どもたちは、お客様に自分から声をかけるなど、緊張しながらも一生懸命に取り組む姿が印象的でした。
- このような取組は、先生方の事前準備や段取りが大変だったことでしょうか、働くことや社会とのつながりを考える大切な学びになっていました。
- 代金や釣銭を計算するなど、算数とつながる場面があり、学校での学びが実生活と結びつく貴重な機会でした。

### 3. 学校教育診断の結果より(ご意見)

- いじめや差別への対応、自己肯定感に関する項目について先生方は自分たちに厳しい評価をしていますが、実際の結果を見ると概ね良い状況にあると考えられます。
- 一方で、「先生に相談しやすい」と感じている割合がやや低い結果も見られました。お忙しいとは存じますが、子どもの話を丁寧に聞く時間を今後も大切にしていきたいと感じます。ただ、子どもたちが先生たちを信頼し、期待してくれているからこそ声であるとも受け止めています。
- 「授業で学んだことはこれからの生活に役立つ」と感じている子どもが多いことは、日々の学習が子どもたちの日常生活につながっている表れであり、大変うれしく思います。

### 4. 次年度の学校運営・地域連携について(学校より)

- 子ども一人ひとりの成長を支える視点を大切に、誰一人取り残さない学校づくりを進めます。
- 子どもたちが自分の思いを伝えたり、自分で選んだり決めたりする場面を、学校生活の中に、さらに取り入れます。
- 「一人で考える学び」と「なかまと学び合う学び」の両方を大切にしながら、自分の学び方を自分で考え、あきらめずに取り組む力を育てていきます。
- 教員自身も学び続ける姿勢を持ち、子どものよいお手本となるよう努めます。
- 地域や校区の小中学校と連携し、「生活科」や「総合的な学習の時間」を中心に、地域とつながる学びを充実させます。



学校教育診断の詳細につきましては、あらためてお伝えいたします。